

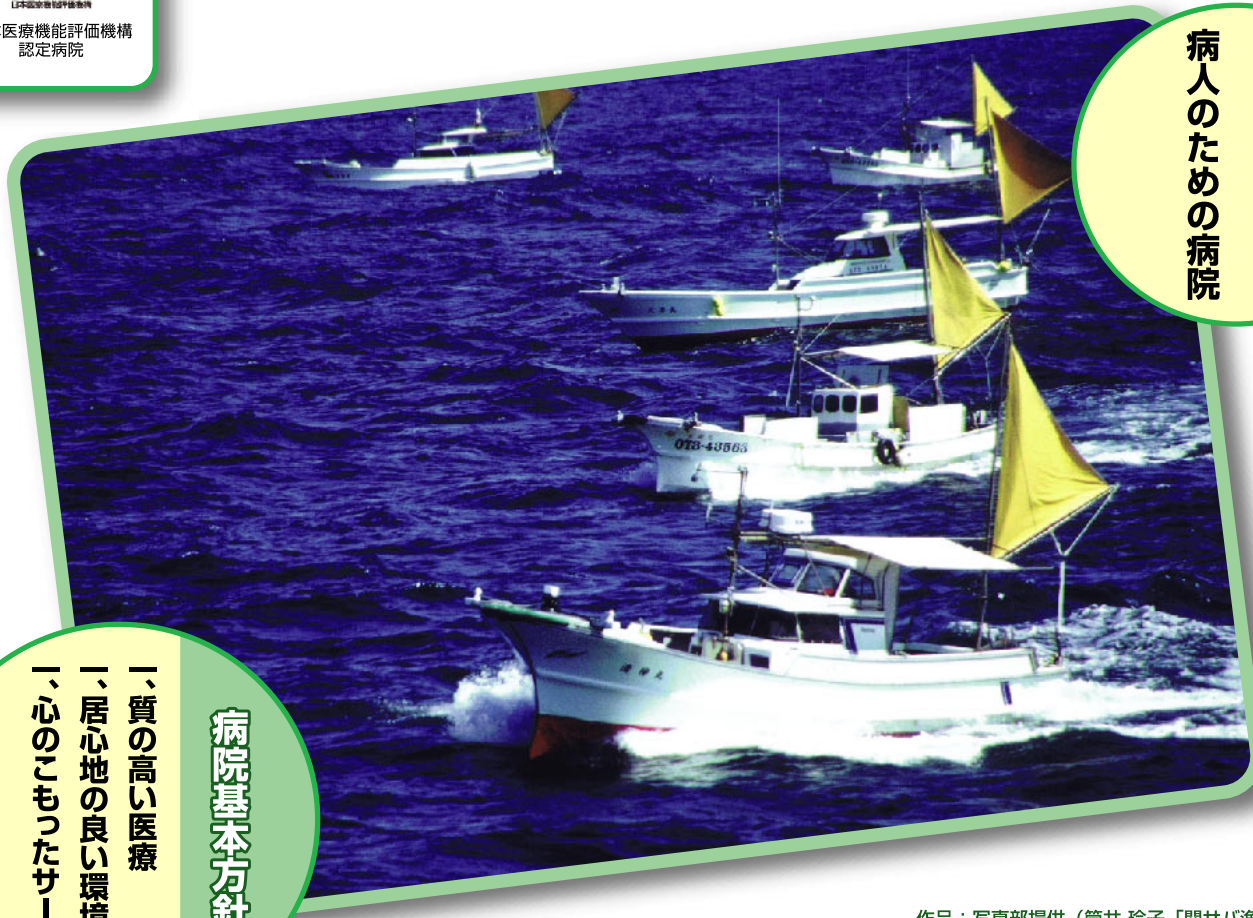
いち・にの・さんじん

原三信病院 広報誌

July 2007 NO.20



日本医療機能評価機構
認定病院



病人のための病院

病院理念

「質の高い医療
「居心地の良い環境
「心のもったサービス

病院基本方針

作品：写真部提供（筒井 玲子「関サバ漁」）

目次

- 病院にゆ〜す「手術室リニューアル」…………… 2
- 医学雑学講座「メタボリックシンドローム」…… 3
- 香椎原病院だより・職場紹介コーナー…………… 4
- 検査紹介コーナー「X線一般撮影」…………… 5
- 薬の豆知識・食のヒミツ…………… 6
- わが町のホームドクター…………… 7
- 病院及び関連施設のご案内…………… 8





病 院 に ゆ ～ す

最近の
原三信病院の
動き

手術室リニューアル

当 院は、ご存じの通り救急指定病院であります。

手術室では、日帰り手術や緊急手術を含め、毎年4200件以上(平成16年～18年度 手術件数: 表1参照)の手術が行われております。

最近、手術件数はおおいに増加してきました。そこで皆様には、目にとまりにくい場所ではありますが、2007年1月より、手術室拡張および集約工事を約5ヶ月間に渡り着手してきました。

工事により、手術室内の清潔度をさらに高めました。このことで、眼に見えない空気による感染が飛躍的に防止できます。

次に、手術件数が増加していることから手術室を増やし、待ち時間を軽減できるようにしました。また、手術室のお部屋も若干広くし手術を受けられる患者様に、より安全で安心・快適な医療を提供できるような、明るくきれいな手術室が出来上がりました。

一方、病院の医療機器は年々複雑になってきています。医療機器のメンテナンスや管理をし

ていただける『臨床工学士』の必要性が高まり、本年度、臨床工学士2名を増員し、患者様により安心して安全な手術を提供していく体制もさらに充実してきました。



リニューアルした第5手術室

きれいに新しくなった手術室で、またスタッフも充実した体制が整っています。

手術をお受けになる患者様に、安心して安全な手術をうけていただけるように、これからも、手術室一同ますます努力していききたいと思います。

手術件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成16年	382	304	349	364	386	357	348	366	358	326	320	377	4,237
平成17年	321	307	406	341	384	342	361	347	322	321	381	410	4,243
平成18年	357	349	409	386	404	382	386	424	389	377	389	399	4,651

表1



麻酔科 下澤 浩基



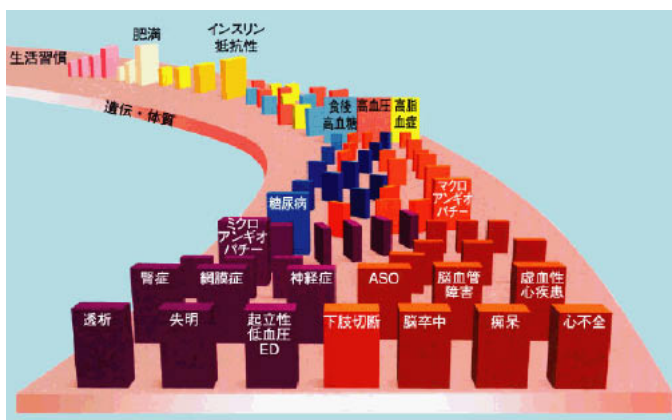
医学雑学講座

メタボリックシンドローム

～生活習慣病の危険因子ナンバーワンは内蔵脂肪～

メタボリックシンドロームはさまざまな要因から起こりますが、主要な要因を整理すると、過食(摂取エネルギーの増加)と運動不足(エネルギー消費の減少)を長期にわたって続ける生活習慣からと考えられます。

体脂肪が蓄積する部位は年齢や性別、体質などによって異なりますが、内蔵脂肪の蓄積は皮下脂肪蓄積より問題は深刻です。内蔵脂肪が引き金になって、メタボリックシンドロームの危険因子が次々に発生し、悪化を始めるからです。内蔵脂肪が危険因子の中心的な黒幕的役割を果たしています。この内蔵脂肪が諸悪の根源ですが、その理由は、内蔵に蓄積した脂肪細胞が、さまざまなアディポサイトカイン(生理活性物質)を分泌し、高血糖(糖尿病)、高血圧や高脂血症などのメタボリックシンドロームの危険因子を誘発し動脈硬化を促進するのです。



メタボリックドミノ (伊藤 裕 Medical Tribune より)

内蔵脂肪の蓄積が諸悪の根源なら、そこから分泌されるアディポサイトカインは危険因子増幅の元凶といえます。このように内蔵脂肪は動脈硬化を促進する中心的役割を果たしています。川に例えれば、内蔵脂肪は川の最上流にあり、メタボ

リックシンドロームは河口になります。上流が汚れる事により下流へ行くほど汚れがひどくなり、ヘドロの厚く沈殿した河口、すなわち動脈硬化の状態になり、そのままにしておけば心臓病や脳血管障害に至るわけです。



内蔵脂肪の蓄積の状態を正確に調べるにはCT検査が必要ですが、それだけのためにCT検査を受けるのは大変ですので、前回紹介したようにおへその周りのウエストを測る方法が推奨されています。



内蔵脂肪は皮下脂肪に比べて分解・合成が早く、たまりやすい半面、落としやすいという特性があります。皮下脂肪がたまりにくく減らしにくいことから「定期預金」と呼ばれるのに対して、出し入れの容易な「普通預金」と呼ばれています。

内蔵脂肪はそれだけ活発な脂肪です。そして、この内蔵脂肪を減らす方法は、生活習慣の改善しかないようです。

一に食事、二に運動、三に禁煙、四がなくて、五に薬と言われています。まず、すぐできる一から三までを実行しましょう。



総合診療科部長 林 真



香椎原病院だより

香椎原病院の概要

香 椎原病院は緑に恵まれた閑静な環境の中で、従来からの「完全型療養病床」に加えて、45床の「回復期リハビリテーション病棟」を増設し、合わせて250床の病院となりました。回復期リハビリテーション病棟とは、急性期医療を終え、引き続き身体機能回復・社会復帰を目指したチームアプローチによるリハビリテーション医療を強化した病棟です。

また在宅支援事業として、医療・介護・福祉の問合せ先を一本化した「かしいの杜」を設けました。「総合的な地域ケアの実践と提供」を理念とし、質の高いチームアプローチに基づいた医療・介護・福祉をご提供し、退院後の家庭生活継続のお手伝

いをしております。さらに「体力向上支援センター」を開設し、自立支援・介護予防を目的とした「パワーリハビリテーション」の実施や、地域の高齢者の皆様へ疾病予防や健康増進を図っております。各職員の技術とエネルギーをひたむきに集結させ、高い理念のもとに「実りある人生」を創造する場を皆様に提供していきたいと思っております。



香椎原病院 院長 寺田 憲司

21号(秋号)香椎原病院だより『かしいの杜』の紹介予定です。



職場紹介コーナー

医療福祉相談員 メディカルソーシャルワーカー について

メ ディカルソーシャルワーカー(医療福祉相談員)をご存知ですか？

当院には2名のメディカルソーシャルワーカー(MSW)が勤務していますが、メジャーな職種ではなく初めて耳にする方も多いと思います。

私たちMSWは、病気にかかることにより生じた社会的な問題(例えば…体が不自由になり、介護が必要になったが介護をしてくれる人がいない、医療費が高額で払えないなど)に対して相談を受け、面談を通して問題解決のお手伝いをしています。

転院先や施設の紹介や橋渡し、また地域の医療・保健・福祉機関と連携を取り、社会復帰や在宅療養の準備のサポートやコーディネートも行っています。

超高齢化社会と言われる今日この頃、当院でも高

齢の患者様は確実に増えてきていますし、病気に対する不安に加え、老老介護となる今後の生活への不安を抱える方も多いと思います。

「どうしたらいいかもわからないし、どこに相談したら良いかもわからない…」と途方にくれる患者様やご家族が一人でも減るよう、また安心して退院していただけるよう、できる限りのサポートをしていきたいと日々業務に励んでいます。

どうぞ、いつでも気軽に声をかけてください。



当院本館1F 医療連携室内
メディカルソーシャルワーカー
相川・城間



検査紹介コーナー

今回よりリニューアル企画として、種々の検査を紹介していきます。病院へ来院されている様々な検査を受けるとき、その検査がどのような検査なのか、どのように診断や治療に役立っているのかを簡単に各検査科より紹介させていただきます。ご不明な点などスタッフまでお気軽にお尋ねください。

X線一般撮影

X線一般検査って、どんな検査？

原理 X線は、X線管球とよばれる特殊な真空管で発生させることができます。この真空管に高い電圧をかけると、陰極から電子が飛び出し陽極へ向かいます。電子が陽極にあたる時にそのエネルギーの一部がX線として放出されます。そのX線を人体にあてて、その透過X線を画像化する検査です。医療用のX線は撮影スイッチを押さない限り、X線が発生することはありません。

■ X線の特長として

- ① **透過作用** 物質に吸収されずに通過する性質
- ② **電離作用** 物質を通過する際、道すじに沿って物質にエネルギーを与えてその物質を電離する性質
- ③ **感光作用** 写真フィルムを黒くさせる性質
- ④ **蛍光作用** ある物質にあると蛍光物質から光を発生させる性質があり、X線検査・CT検査などでは、①透過・③感光・④蛍光作用が利用されています。



検査目的 一般撮影は放射線を利用した検査の中で最も基本となる検査です。体の中の骨や臓器の状態を最も手軽に画像情報として得ることができる検査です。

- ① 臓器の状態や位置の観察
- ② 全身の骨の状態(骨折や変形など)の観察
- ③ 体内の空気(体内ガス:肺や腸内ガスなど)の観察
- ④ 異常陰影(腫瘍や結石、石灰化など)の観察



① 肩関節



② 手関節正面



③ 手関節側面



④ 胸部撮影



⑤ 腹部撮影

CRシステム [Computed Radiography System]

従来のX線写真は、X線を直接フィルムに当てて画像化するアナログシステムでした。CRはX線をイメージングプレートというX線を蓄積する板に当て、その板にレーザービームを照射することによって電気信号に変換します。その電気信号をデジタル値として処理した後、フィルムとして出力します。

利点: ① 被曝量が少なくて済みます。 ② 情報量の多い画像になります。(種々の画像処理が可能となります)

放射線科 阿部 健吾



薬の豆知識

お薬手帳について

み なさんは今、ご自分が飲んでいるお薬のこ
とをどこまで詳しく知っていますか？血液
をサラサラにする薬、胃の薬、便秘の薬…と効果
は知っていても、名前、規格(お薬の成分量)など
は知らない方がほとんどではないでしょうか。

そこで、『お薬手帳』という手帳があります。
『お薬手帳』はみなさんに処方されたお薬の名前
や飲む量・回数などの記録
を残すための手帳です。

今までと違う病院や歯
医者にかかる時に『お薬手
帳』を見せるだけで、内服
中のお薬のことを正確に
伝えることができます。



活用法

- ① 病院・薬局に行く時
- ② 入院する時
- ③ 薬局・薬店で市販薬、健康食品を買う時

複数の病院にかかる際、手帳1冊に薬を記録して
いく事により、重複した薬や飲みあわせの良くな
い薬が出るのを防ぐことができます。日常だけで
なく旅先などで急に具合が悪くなった場合にも
役に立ちます。

アレルギーや副作用など
があれば『お薬手帳』に記入
しておくといよいでしょう。



薬剤科 本田 めぐみ



食のヒミツ!

食の秘密「水分補給について」

私 たちのからだの大半は水分で構成され
ています。適切な水分を摂取することが
体調をととのえていくためには不可欠です。
そこで今回のテーマは食・健康の基礎となる「水
分」についてです。

まず、人間は1日に約2000~2500mlの水分
が排出されます。1日の食事の中に含まれる水
分は約1000mlで、残り1000~1500ml程度を
飲料水として摂取しなければいけません。

『水分を摂取する上でのポイント』は

- ① 汗をかく前後に飲む
例えば、就寝・入浴・運動など
- ② 一度にたくさん飲まない

胃への負担が大きくなります。コップ1杯程度
(200ml)を、ゆっくり飲みましょう。

③ 牛乳や清涼飲料水に注意

牛乳はタンパク質や脂質が多く胃腸への負担
が大きくなります。また、清涼飲料水(ジュース
などのソフトドリンク類)は糖分が多いことと、
糖分が分解されていく過程にビタミンB1を多
く使用するため、ビタミンB1
不足による倦怠感などがで
ることもあります。水やお茶で水
分を補給していきましょう。



栄養科 石崎 律子

🏠 わが町のホームドクター



ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。

※ 診療時間は各施設にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

施設名
加藤神経科クリニック

登録医 **加藤 裕二**

住所 福岡市博多区千代4-21-18

電話番号 **092 (651) 2610**

診療科 精神科、神経科、心療内科、リハビリテーション科

施設名
貝原整形外科医院

登録医 **貝原 信紘**

住所 福岡市博多区祇園町8-20

電話番号 **092 (271) 6116**

診療科 整形外科、リハビリテーション科

施設名
時クリニック

登録医 **時 修一**

住所 糟屋郡志免町志免2-4-25

電話番号 **092 (937) 3911**

診療科 小児科、内科、消化器科、リハビリテーション科

施設名
古寺内科医院

登録医 **古寺 重喜**

住所 福岡市博多区南八幡町2-3-10

電話番号 **092 (581) 1716**

診療科 内科、小児科、消化器科、呼吸器科、循環器科

施設名
平橋内科医院

登録医 **平橋 高賢**

住所 福岡市博多区板付7-2-1

電話番号 **092 (581) 9357**

診療科 内科、循環器科、消化器科

施設名
原田医院

登録医 **原田 恒喜**
原田 寛

住所 福岡市博多区諸岡3-6-25

電話番号 **092 (571) 4309**

診療科 内科、胃腸科、小児科

※ここで紹介する先生方は、当院の開放型病院制度（医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる）の登録医になって頂いている先生です。

原三信病院からの **お知らせコーナー**

6月はじめに手術室内の改装・改修工事が終わりました。皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしました。

生活習慣病外来を7階に開設いたします。今まで内科外来にて診察してきましたが、患者様の待ち時間緩和を考え、また生活習慣病外来をひとつの診療体制に統一化するために、7月より開始予定です。

● 10月1日より、敷地内禁煙の病院作りを行ってまいります。

編集後記

いち・にの・さんしんは、今号よりページを増やしています。

もっと親しみやすくするために、文字を大きくして読みやすくいたしました。今後さらに『いち・にの・さんしん』をより良くしていきたいと考えています。ご不明な点などございましたら、スタッフまでお声をかけていただければ幸いです。

広報委員会 委員長 原 直彦

病院及び関連施設のご案内



原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp

日本医療
機能評価機構
認定病院

● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・リウマチ科・外科・
 血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・
 放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック・睡眠呼吸障害センター



シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	-	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	-	17:00

運休日：日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

● 診療時間
水曜日 14:00～17:00
 ● 診療科目
内科・人工透析

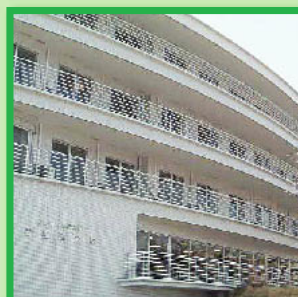
原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F(双和薬局上)
 ☎092-283-5121 FAX092-283-5131

● 診療時間
月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00
 ● 診療科目
泌尿器科

香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX092-662-1330
 URL <http://www.kashihara.or.jp/>

● 診療時間
月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00
 ● 診療科目
内科・リハビリテーション科

日本医療
機能評価機構
認定病院

病院理念 手の暖かさの伝わる病院